



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 21LADY株式会社 上場取引所名
 コード番号 3346 URL http://www.21lady.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 道子
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)北川 善裕 (TEL)03(3556)2121
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,615	6.7	2	△65.0	1	△87.3	△5	—
25年3月期第2四半期	1,513	7.3	7	—	10	—	4	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △5百万円(—%) 25年3月期第2四半期 1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△1 53	—
25年3月期第2四半期	1 18	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	956	25	2.6
25年3月期	934	31	3.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 25百万円 25年3月期 31百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	1.4	30	—	20	—	10	—	2 56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	4,394,700株	25年3月期	4,394,700株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	498,500株	25年3月期	498,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	3,896,200株	25年3月期2Q	3,896,200株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として回復基調にあるものの、円安に伴う原材料価格の上昇や、平成26年春の消費税増税を見据えた個人消費の低迷による景気の腰折れリスクも懸念され、国内外を取り巻く経済環境は依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは、ヒロタ、イルムス両事業におきまして、引き続き選択と集中による既存直営店強化を中心に、新商品の投入を含めた商品構成の見直し、人財教育による販売力強化及び経営改善計画の達成を目指し取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高1,615,261千円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益2,716千円（前年同四半期は7,776千円の営業利益）、経常利益1,306千円（前年同四半期は10,362千円の経常利益）、四半期純損失5,983千円（前年同四半期は4,610千円の四半期純利益）となりました。

セグメント別には、次のとおりであります。

ヒロタ事業

直営店舗におきましては、シューアイスの販売を中心とした夏季限定直営店舗の拡大・選別により売上拡大を図り、また、千葉県の小学生の授業の一環として共同開発したお米のシューアイス「コメミスコーラー」等の新商品を発売し、ヒロタのブランド価値を高めてまいりました。ホールセール部門におきましては、前連結会計年度に引続き関東・関西方面を中心に、それ以外のエリアを含めた取引先の拡大を実現いたしました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の直営店舗数は、39店舗となりました。

この結果、売上高は1,099,801千円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益54,460千円（前年同四半期53,406千円の営業利益）となりました。

イルムス事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、店舗を巻き込んだマーチャンダイジング（MD）開発を行い、粗利益率の改善に努めてまいりました。また、賃借料の削減等の本部経費の見直しを行い、利益構造の改善に努めてまいりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の総店舗数は12店舗となりました。

この結果、売上高は515,459千円（前年同四半期比2.3%増）、営業損失は30,073千円（前年同四半期は18,049千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ22,345千円増加し、956,989千円となりました。これは、流動資産が47,565千円増加、固定資産が25,219千円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ28,329千円増加し、931,828千円となりました。これは主に、流動負債において買掛金が52,993千円増加、1年内返済予定の長期借入金が8,517千円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5,983千円減少し、25,161千円となりました。これは、利益剰余金が5,983千円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ37,974千円減少し、146,833千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、67,636千円の収入（前年同四半期は36,105千円の収入）となりました。主な内訳は、減価償却費27,421千円、仕入債務の増加額52,993千円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、6,644千円の支出（前年同四半期は43,862千円の収入）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出3,770千円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、23,017千円の支出（前年同四半期は22,762千円の支出）となりました。主な内訳は、ファイナンス・リース債務の返済による支出8,819千円、長期借入金の返済による支出8,517千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月15日発表の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、ヒロタ事業・イルムス事業において、経営改善計画を策定し実行してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、2期連続営業黒字となる営業利益2,716千円を計上し、また、営業活動によるキャッシュ・フローも2期連続の収入となっております。

なお、引き続き保有している資産等の売却や新たな資金調達も視野に入れた検討をしており、当第2四半期連結累計期間末時点において、継続企業の前提に重要な不確実性はないものと判断しております。両事業における主な施策は以下の通りです。

ヒロタ事業

株式会社洋菓子のヒロタの最大の強みであるシュークリーム・シューアイスの更なるブラッシュアップ及び他業種等のコラボレーションを積極的に図り、ヒロタのブランド価値を高めつつ、売上拡大を図ります。

- ① 既設店舗の活性化・クリスマス等のイベント強化
- ② ホールセール部門の全国エリア並びに海外等も視野に入れた取引先の更なる拡大
- ③ 千葉工場における稼働率アップ

イルムス事業

北欧生活雑貨を取り扱う株式会社イルムスジャパンは、四半期ベースで例年最も販売高が見込まれる第3四半期に向けて、クリスマス及びシーズン商品の強化と売上拡大を図るとともに、本部組織の大幅改編による本部経費の削減効果により、月次ベースでの営業黒字化を目指します。

- ① 日本橋店に次ぐ大型直営店舗のコスト構造改善策として、平成25年11月からデンマークブランドであるポーコンセプトへ梅田店の一部を転貸することにより、家賃収入による店舗経費の削減及び北欧ブランドの相乗効果による集客増加での売上効率アップを図る
- ② 本部組織の大幅改編による本部経費の削減効果と、それに伴うMDの店舗移管による店舗中心の営業に特化し、販売促進の強化を図る
- ③ 新規店舗イルムス港北の平成25年10月末オープンによる売上及び利益の拡大

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,859	146,833
売掛金	238,376	241,054
商品及び製品	106,629	104,450
仕掛品	1,443	1,911
原材料及び貯蔵品	23,464	26,753
その他	14,048	19,333
貸倒引当金	△3,310	△3,260
流動資産合計	489,511	537,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	177,693	166,934
その他	150,007	140,812
有形固定資産合計	327,701	307,747
無形固定資産		
のれん	5,753	5,066
その他	34,894	32,317
無形固定資産合計	40,647	37,384
投資その他の資産		
その他	80,616	79,046
貸倒引当金	△3,833	△4,265
投資その他の資産合計	76,782	74,780
固定資産合計	445,131	419,912
資産合計	934,643	956,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成25年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,379	231,373
短期借入金	37,391	33,881
1年内返済予定の長期借入金	61,030	52,513
未払法人税等	14,077	12,834
未払金	287,756	294,851
未払費用	91,064	86,493
その他	87,002	75,892
流動負債合計	756,702	787,838
固定負債		
長期未払金	103,403	101,513
資産除去債務	28,785	28,905
その他	14,607	13,570
固定負債合計	146,796	143,989
負債合計	903,499	931,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	493,387	493,387
利益剰余金	△458,319	△464,303
自己株式	△103,923	△103,923
株主資本合計	31,144	25,161
純資産合計	31,144	25,161
負債純資産合計	934,643	956,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	1,513,627	1,615,261
売上原価	696,234	747,123
売上総利益	817,393	868,137
販売費及び一般管理費	809,616	865,421
営業利益	7,776	2,716
営業外収益		
受取利息	17	2
受取配当金	70	55
違約金収入	4,500	—
受取補償金	6	195
貸倒引当金戻入額	300	300
その他	480	281
営業外収益合計	5,375	834
営業外費用		
支払利息	2,784	2,222
その他	5	21
営業外費用合計	2,789	2,244
経常利益	10,362	1,306
特別損失		
固定資産除却損	360	—
貸倒引当金繰入額	—	682
特別損失合計	360	682
税金等調整前四半期純利益	10,001	624
法人税、住民税及び事業税	6,709	6,895
法人税等調整額	△303	△288
法人税等合計	6,405	6,607
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	3,595	△5,983
少数株主損失(△)	△1,015	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,610	△5,983

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	3,595	△5,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,935	—
その他の包括利益合計	△1,935	—
四半期包括利益	1,660	△5,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,675	△5,983
少数株主に係る四半期包括利益	△1,015	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,001	624
減価償却費	31,184	27,421
のれん償却額	306	686
差入保証金償却額	2,313	2,313
貸倒引当金の増減額(△は減少)	523	382
受取利息及び受取配当金	△87	△57
支払利息	2,784	2,222
固定資産除却損	360	—
売上債権の増減額(△は増加)	△27,578	△2,678
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,707	△1,578
仕入債務の増減額(△は減少)	22,201	52,993
未払金の増減額(△は減少)	12,652	10,592
未払費用の増減額(△は減少)	3,304	△4,571
長期未払金の増減額(△は減少)	△9,351	△90
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,180	△5,168
その他	△815	△5,633
小計	47,273	77,460
利息及び配当金の受取額	188	57
利息の支払額	△2,676	△2,502
法人税等の支払額	△8,679	△7,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,105	67,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△8,391	△3,770
無形固定資産の取得による支出	△979	△1,977
敷金及び保証金の差入による支出	△641	△1,384
敷金及び保証金の回収による収入	3,874	488
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,862	△6,644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△3,510	△3,510
長期借入金の返済による支出	△8,181	△8,517
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,649	△8,819
子会社の自己株式の取得による支出	△2,320	—
割賦債務の返済による支出	△2,102	△2,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,762	△23,017
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	57,205	37,974
現金及び現金同等物の期首残高	119,920	108,859
現金及び現金同等物の四半期末残高	177,125	146,833

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ヒロタ 事業	イルムス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,009,893	503,734	1,513,627	—	1,513,627	—	1,513,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,009,893	503,734	1,513,627	—	1,513,627	—	1,513,627
セグメント利益又は損失 (△)	53,406	△18,049	35,357	—	35,357	△27,580	7,776

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△27,580千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	ヒロタ 事業	イルムス 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,099,801	515,459	1,615,261	—	1,615,261	—	1,615,261
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,099,801	515,459	1,615,261	—	1,615,261	—	1,615,261
セグメント利益又は損失 (△)	54,460	△30,073	24,387	—	24,387	△21,671	2,716

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△21,671千円は、主に報告セグメントには配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。